

和光市子ども議会

【市政に対する一般質問】

●発言順位1 天沼 瞳 子ども議員

駐車違反についての一般質問を行います。

私たち大和中生は、ふだん中学校に登校するとき、主に市道を利用しています。特に学校から離れた学区の人については、細い路地を利用することが多く、市道をメインに歩いて登校してくる人も多々います。そして、その際に今私たち大和中生が困っている問題が駐車違反の車についての問題です。

先ほども述べましたが、私たち大和中生は細い路地や市道を多く利用します。そのため、駐車違反の車がとまっていると、とても不便なのです。実際に私も学校から離れた場所からふだん登校していますが、やはり駐車違反の車が目につきます。登下校時にとまっている車、それにもっと悪いのは一日中ずっととまっている車です。

しかし、私たちは今その環境になれ始めてしまっています。初めのころは、すごく意識して嫌な気持ちになっていた車にも、今では気にもとめなくなっているのです。でも、私はこの環境になれてしまっはいけないと思います。駐車違反の車があるのは普通。私たち大和中生や近隣住民の方々の身近に駐車違反の車があるのは当たり前。そんな環境を見過ごしてよいのでしょうか。

以上のことより、私はよりよい和光市、みんなが気持ちよく過ごせる和光市をつくるため、まず駐車違反の車をしっかり規制してほしいと思います。

■子ども議員の質問に対する答弁 荻野比登美 議員

天沼瞳子ども議員の御質問にお答えいたします。

天沼子ども議員の御意見のように、狭い市道に駐車違反の車が置かれているのは、景観としての問題もありますけれども、交通安全という視点では非常に重要な問題であります。

和光市では、市道の維持管理のために道路パトロールを実施しておりますけれども、駐車違反の取り締まりは朝霞警察の管轄で、駐車違反などの対策の重点区域が決められております。和光市では駅周辺が重点地域となっています。この地域では、法律上の資格を持っている駐車監視員が地域を巡回し、放置車両の確認などを行う仕事をしていますけれども、活動地域は残念ながら重点地域に限られております。

重点地域以外のところの放置車両等については、近隣の方々から直接朝霞警察に通報していただくか、もしくは市の道路安全課交通安全担当に御連絡いただければ、警察に取り締まっていただくようお願いすることができます。

また、子ども議会でこのようなお話があったことを朝霞警察にはお伝えして、取り締まりの強化をお願いしたいと考えております。

●発言順位2 松本美優 子ども議員

パトロールについての一般質問を行います。

私は、パトロールについてを質問します。

私は、よく友達と遊んだ後、思ったより暗くなっていることがあります。暗いと見通しも悪いし、人通りも少ないです。暗いと視界も悪いので、とても危険です。さらに、暗いところには不審な人が出ることもあるので怖いです。

そこで、暗い道にパトロールの人をつくってほしいです。時間は小学生が帰る5時から5時30分ぐらいだと、とても安心して帰ることができると思います。パトロールの人がいれば、危ないことを注意する人もいるので、人に被害が少なくなると思います。ぜひ1人か2人でいいので、暗い場所にはパトロールの人がいてくれると安心です。可能でしょうか。

■子ども議員の質問に対する答弁 須貝郁子 議員

松本美優子ども議員の御質問にお答えいたします。

和光市では夕方、皆さんの帰宅を促す放送をしています。季節によって日没時間が異なるので、2月1日から5月31日までは午後5時、6月1日から8月31日まで午後6時、9月1日から10月15日まで午後5時、10月16日から1月31日まで午後4時15分に放送していますので、この放送をお聞きになったら帰路についていただくと、暗くて怖いことには出会わないで済むのではないかと思います。

学校では、下校時には立哨指導員さんが安全の確保をさせていただいていますが、下校後、学校に再度遊びに来たときの帰宅は、遅くとも閉門と同時に真っすぐに帰宅していただくことが大事かと思えます。

通学路の点検は毎年PTAで検証し、教育委員会に提出していただいています。基本的に交通安全での検証ですが、防犯についても通学路すべてについて行っております。

また、市民の皆様のご協力もいただいています。

まず、子どもを守る家が市内に540カ所設置されています。怖い目に遭いそうなとき、飛び込んで助けを求めてください。

次に、市民グループの皆さんが公園やその周辺についても点検をして、防犯について改善を常に市に提案していただいています。

次に、わんわんパトロールや自治会、地域住民の方々が自主的に皆さんの登下校の時間に合わせてパトロールをしてくださっています。防犯団体は毎年2団体から3団体ふえて、現在平成22年度では63団体が皆さんの通行の安全を見守ってくださっています。皆さんの御両親もPTAや地域の活動に参加しておられると思いますが、御両親を初め地域みんなで子供たち皆さんが安心して暮らせるように努力をしています。

しかし、限界もありますので、自分自身の身を守るという観点から、皆さんの行動範囲や子どもを守る家を御家族で点検し、帰宅時間や連絡の方法など家庭のルールづくりが必要だと思えます。

学校を通じて保護者の皆さんにお話をしていきたいと思います。

夕方の放送も、より注意を促すために、皆さんと同じ子供さんの声で放送するための準備をしています。

今後は地域力をさらにアップして、皆さんを見守る体制をつくっていききたいと思います。

●発言順位 3 田中晃成 子ども議員

遊ぶ場所についての一般質問を行います。

僕たちにはボールを使って自由に遊べる場所が少ないと思います。昔に比べて外で元気に遊ぶ子供が少なくなったと言われますが、僕はボールを使って外で遊ぶことが大好きです。友達には野球チームやサッカーチームに入っている人もたくさんいます。僕たち白子小学校は学区が広いので、放課後に遊ぶ人は余りいません。友達と集まりやすい公園に集合しても、小さな子がいるとボール遊びができません。

そこで、3点質問したいと思います。

1つ目は、自由にボール遊びができる公園の設置をお願いしたいのですが、いかがでしょうか。

2つ目は、公園の一部を高いフェンスで囲ってボール遊びができるエリアを設置してほしいのですが、いかがでしょうか。公園をつくるよりも、お金はかからないと思います。

3つ目は、土日の学校開放のほとんどは野球チームが使用していますが、野球チーム以外の人たちが使うことができる時間帯をつくってほしいと思いますが、いかがでしょうか。

以上3点について要望します。

■子ども議員の質問に対する答弁 熊谷二郎 議員

田中晃成子ども議員の御質問にお答えします。

現在、和光市には55カ所の公園があります。そのうちボール遊びができる公園として公表しているのは、松ノ木島公園、ワンパク公園、広沢原児童公園、和光樹林公園、赤池児童遊園地、天神ヶ谷戸公園、外環・花の木広場の7カ所であります。二軒新田公園もボール遊びが可能です。子ども議員のおっしゃるとおり、大変少ないのが現状となっております。

2点目の質問で子ども議員が要望しているように、フェンスの一部を高くしてボールの遊び場として確保できる公園は、バスケットゴールが設置してある公園、それには5mのフェンスを設置しています。ワンパク公園は5mのフェンスがあるにもかかわらず、ボール遊びのボールがフェンスを乗り越え、線路上に落ちるという状況となっていて、鉄道会社から対策が迫られているところです。

3点目の御指摘いただいた土曜・日曜の学校の校庭開放については、第三小学校では地域の方が少年団やクラブに入っていない子供たちを集めて三小イレブンとして登録し、遊び場の確保をしている事例があります。ぜひ参考にさせていただければと思います。

また、子ども教室の参加登録をしますと、白子小では第1・第3土曜日が校庭を使用することが

できるようになっています。参考にさせていただければと思います。

●発言順位 4 今井大樹 子ども議員

天神ヶ谷戸公園のトイレと水道の設置についての一般質問を行います。

天神ヶ谷戸公園は、僕たちがいつも遊んでいる公園です。その公園は芝生のところに、滑り台、ジャングルジムがあり、砂利の広場ではサッカーや野球ができます。けれど、いろいろな人が使う公園なのにトイレと水道がありません。トイレを使うには、近くの坂をおりた湧水公園に行かなくてはなりません。それに、そのトイレも汚くて、余り使おうとは思いません。

また、公園の芝生は時々芝刈りをして、やわらかい土だけになります。そこで転んで手や足に泥がついて汚れてしまいます。そして、砂利で転んだら血も出ます。そんなときに水道で泥や血を洗えません。

僕は公園ができた当時に、トイレと水道を設置するとホームレスが住み着くから設置はしないというのを聞いたことがあります。けれど、湧水公園同様ほかの近くの公園には必ずトイレと水道があります。トイレと水道があれば、サッカーや野球など思い切り遊ぶことができるので、天神ヶ谷戸公園にトイレと水道の設置を要望します。

■子ども議員の質問に対する答弁 菅原 満 議員

今井大樹子ども議員の質問にお答えします。

皆さんが楽しく遊ぶ公園として安心して危なくないことが大切です。また、それから公園を設置するよとということ、議会でも取り上げられてきています。天神ヶ谷戸公園は、地主さんの御協力でお借りした土地を活用して皆さんに使ってもらっています。市内にも同じような借りた土地の公園があります。

今まで公園の設備の基準がなかったことから、昨年、市では公園の基準をつくりました。借りた土地か、あるいは市の土地か、公園の広さなどによって、どのような設備や遊具が必要かという基準です。残念ですが、基準の中では借りた土地の公園には水道とトイレの設置は入っていませんが、市では和光市公園ワークショップとあって、公園について子供さんたちの意見を聞くことを始めています。

それから、湧水公園のトイレは使いにくいということですが、近くに公民館もあり、ここも使ってもらっています。安心して使えるようにトイレのあかり、電灯ですね、それからきれいで使いやすいように工夫できるか、今井子ども議員の御意見を執行部にお伝えをしております。

湧水公園の隣にある坂下公民館にはトイレや水道があります。けがをしたり、困ったことがあれば相談できますので、また図書室などもありますので、休日など公民館も十分に利用していただければと思います。

●発言順位 5 吉村美紀 子ども議員

和光市下水処理場の屋上についての一般質問を行います。

和光市の下水処理場の屋上に、サッカー、野球などができるスポーツ広場をつくってほしいと思います。

和光市には、サッカー、野球、その他のスポーツができる広い広場がありません。そのことによって、今の子供たちは家の中でごろごろしながらゲームをして遊んでいる子が多くなってきています。家の中で遊ぶ子供を減らすためにも、早く和光市の下水処理場の屋上にスポーツ広場をつくってほしいです。

家族で幸魂大橋を渡るときに下水処理場の広い屋上が見えます。広い屋上を見るたびに、私はみんなが自由に使えるスポーツ場ができないかと思っています。だから、早くだれもが自由に使えるスポーツ広場の建設を要望します。

■子ども議員の質問に対する答弁 井上 航 議員

吉村美紀子ども議員の質問にお答えします。

下水処理場の上をスポーツ広場などに整備する計画をアーバンアクア広場整備計画と呼んでいます。このアーバンアクアは、吉村子ども議員が幸魂大橋から見た下水処理場の上のふたの部分、このふたをつくるどころまでが埼玉県の仕事で、そこからサッカーや野球などができるように、その屋上の上を整備するのが和光市の役割となっています。

しかし、県のふたをかける工事の完成がおくれてしまったことや、和光市の工事に使えるお金が少なくなったため、まだ完成はしていません。

その後、大規模事業検証会議という、このアーバンアクアの広場が本当に必要かどうかを市民の方も加わって、もう一度話し合いを行いました。その結果、市役所がその検討結果を受けて検討した結果、お金が限られているということも考えて、きちっとした野球場、サッカー場としての整備はすぐにはできなくても、まずはアーバンアクアを開放して皆さんに使ってもらえる段階までの整備を目指すことになっています。でき上がった後は、市民の皆さんと力を合わせて管理することを考えています。

●(再質問)吉村美紀 子ども議員

広場はいつごろできるのですか。

■子ども議員の再質問に対する答弁 井上 航 議員

先ほど、まずはアーバンアクアを開放するというお話をしました。和光市では、区画整理といって土地を整理する計画を予定しています。そのときに土が出てくるので、その土を利用して整備することを考えています。その方向で考えると、平成 23 年度には、すぐにはかかれないうすけれども、市の先日公表したこれから 3 年間どういう事業をするかという計画の中では、平成

24年度からその工事に少しずつ取りかかる予定になっています。

●発言順位6 柳下 幹 子ども議員

第三小学校駐車場についての一般質問を行います。

僕たちが毎日遊んでいる校庭の端に先生たちが車をとめる場所があります。車は西門から入って、昔プレハブ校舎があったところにとめています。そこは昇降口の先なので、校庭に遊びに出るときには、児童はその場所の横を通らなくてはなりません。

朝休みに僕が校庭で遊んでいるとき、クラクションの音をよく聞きます。先生たちが車を駐車しようとするときに児童が近くにいて危ないのです。1年生の昇降口が近いので、特に1年生が多いです。僕は事故が起きないか心配しています。

そのほかに校庭でボールで遊んでいるとき、飛んで行ってしまったボールが車に当たって傷がつくことがあります。僕たちはサッカーなどボールを使って遊ぶことが大好きなのですが、校庭に車があると、車を気にしながら遊ばなくてはなりません。

学校が安全で安心して過ごせる場所になるように、僕たちが思い切り遊べる校庭になるように、さくのない駐車場の設置を要望しますが、いかがでしょうか。

■子ども議員の質問に対する答弁 齊藤秀雄 議員

柳下幹子ども議員の質問にお答えします。

質問の中に、クラクションの音が聞こえるということですが、クラクションを鳴らす理由につきましては、車が動くことを、音を使って歩行者や車に近づく児童の皆さんに危険防止のために鳴らしているわけです。まず、それを御理解ください。

さて、安全に安心して校庭で遊ぶためには、先生方の車の駐車的位置が問題だと思います。現在の状況から、校庭内に駐車をすることはやむを得ないと思いますが、皆さんが安全に校庭で遊ぶことができるためには、先生方の車の駐車の方法が問題であると考えます。

そこで、児童会などで検討してみたいかがでしょうか。例えば運転する先生に車の窓を開けてもらい、「おはようございます」と大きな声を出してもらい、「車が来ました、注意してください。」という意味で声かけをしてもらう方法など、児童の皆さんからいろいろな意見が出ることと思います。それらをまとめて校長先生、教頭先生に御相談してはいかがでしょう。相談することで学校の先生方も、皆さんが安全・安心に校庭で遊ぶことができるように車の駐車方法を考えてくれるはずですので、お願いしてみたいかがでしょうか。

それと、先生方の車の駐車は日常的に行われているわけですから、車が進入してきたときに近くに児童がいた場合は「車が来ます、注意してください。」と声をかけてあげるなど、上級生が下級生を守ってあげることも大切なことだと思います。ただし、自分自身も十分に注意を払うことを忘れないでください。

●発言順位7 及川陽菜 子ども議員

交通安全（安全な横断歩道について）の一般質問を行います。

私のよく通る横断歩道と信号機のことについてです。私の家の近くに、距離が遠いのに信号機の点滅時間が短い横断歩道があります。その横断歩道は駅やスーパーに続く道でもあるので、お年寄りの人や小さな子供などたくさんの方が通ります。ここは点滅時間が短く、急がなくてはならないのに、横からも車が来るので車にぶつかりそうになっている人や、急いでいて転びそうになっている人などを見ました。さらに周りをよく見ると、小走りしている人がたくさんいることもわかりました。つまずいて転んだりしたら危ないなと思いました。

ほかの人にも聞いてみると、この横断歩道は信号機の点滅時間が短く大変だということをしていました。なので、できれば信号機を変えるなどの工夫をして、みんなが安心して渡れるようにすることを要望しますが、いかがでしょうか。

■子ども議員の質問に対する答弁 栗原次男 議員

及川陽菜子ども議員の質問にお答えします。

子ども議員の言われる交差点とは、農協通りと外環道路の交差点と思われるので、その交差点について答弁いたします。

市内すべての信号の管理は警察署で行っているため、警察には連絡させていただきますが、以前にも同様の意見をいただき、警察に相談したところ、そのときの回答では、外環側道に関しましては、それぞれ別の交差点、1本目、2本目、これが1つの交差点、2本目はもう一つの交差点と考えており、この交差点については隣接する県道川越街道の交差点との関係もあり、短目の信号の設置となっているようです。

今後とも、子ども議員からの御質問もあり、皆様の御質問もありますので、何か対策がないか、市から警察のほうにも問い合わせまして、私のほうからも市担当部署と一緒に対応策を考えてまいります。

●発言順位8 河野 渚 子ども議員

ボールを使って遊べる公園についての一般質問を行います。

僕らのクラスには野球やサッカーなどスポーツを習っている人がたくさんいます。休み時間や放課後など、みんなで校庭でサッカーをして遊ぶ人も多くいます。けれども、家に帰ると近くにボールを使って自由に遊べる公園がありません。ボールで思い切り遊びたくても遊べないのです。周りの人の中には、本当はボールで遊んではいけない道路や小さい子たちがいる公園などでボールを使って遊んでいる人もいます。とても危険だと思うのですが、自由に遊べる公園がないので、注意をするのに少しためらってしまうこともあります。

だから、ボールで自由に遊べる公園の幾つかの設置を要望します。もしそういう公園ができれば伸び伸びと遊ぶことができるし、何よりけがをしたりさせたりといった危険なボール遊びがと

ても減ると思います。また、たくさんの子供がボールで遊べる環境は、運動好きな子供をふやすことにもつながるし、ふだんから遊ぶ機会がふえれば体力の向上にもつながると思います。

幾つもつくるのが無理なら1カ所でも2カ所でも構わないのですが、このような子供たちが自由に安全にボール遊びができる公園をふやすことを要望しますが、いかがでしょうか。

■子ども議員の質問に対する答弁 野口 保 議員

河野渚子ども議員の質問にお答えします。

現在、和光市の北側に25カ所、南側に24カ所の公園があります。また、東京外郭環状道路の上部を利用した広場が5つあります。

公園には幾つかの種類があります。大きさや機能により分かれております。市民生活に身近な公園で、ゆっくり歩いて行ける範囲に広場や遊具などを備えた児童公園、運動ができる広場や樹林地、原野などを備えた近隣公園、児童公園・近隣公園よりさらに大きな公園で、スポーツができる施設、自然環境を保全するなど地域の特徴を生かした地区公園などの種類があります。和光市は面積が小さいまちですが、これからまちづくりをする地区が残されており、まちづくりをするときには必ず公園を設けることとなっております。

さて、御質問の公園をふやしてほしいとのことですが、公園をつくるには、さきの子ども議員さんにお答えしたように公園の配置計画を立てること、公園の整備内容を検討すること、そして一番大事なのは公園用地を確保することになります。確保する方法は、用地を買いことや、地主さんから用地をお借りすることとなり、いずれも地主さんの御協力が必要となります。これらの要件がそろると、公園の整備が可能となるわけです。

河野子ども議員は、道路や小さな子供たちがいるところでは危険なのでボール投げはしませんと言っております。大変偉いと思います。今後も子供たちが自由にボールで遊べ、元気にスポーツが楽しめる公園を確保していきたいと考えております。まず、ルールを守ってキャッチボールを楽しんでください。

●発言順位9 井上 優 子ども議員

中学校は新しくつくられることはないのかということについて一般質問を行います。

今の6年生は、もうすぐ中学校に行くこととなります。そこで、私は疑問に思いました。和光市内には、大和中学校、第二中学校、第三中学校の3つの中学校があります。それらの中学校は、どれも駅より南側にしかありません。ですから、駅より北側の新倉小学校方面の人たちは、遠いけれども、大和中学校か第二中学校に行くしかありません。

中学校になると、部活に入る人もいます。冬になると真っ暗な道を1人で帰ることも多くなり、とても危ないです。そして、市内の3つの中学校で大和中学校の生徒の人数が一番多いとも聞いています。北側に中学校を新しくつくることで、一つ一つの中学校の生徒の人数も減り、通学する距離も短くなり、より安全に登下校することができると思います。これらの理由から、北側に

中学校の設置を要望します。

■子ども議員の質問に対する答弁 阿部かをる 議員

井上優子ども議員の御質問にお答えします。

御質問のとおり、本市では中学校の配置、生徒数ともにバランスに欠けた現状となっております。南側にしか中学校が配置されておらず、また年々生徒数が増加しており、他市に比べても1校当たりの生徒数が多い状況にあります。特に大和中学校、そして第三中学校の生徒数が増加しており、さらに今後も生徒数の増加が見込まれます。

ちなみに、大和中学校は現在765名ですが、平成23年度は約800名、そして第三中学校は現在は458名であります。平成23年度では約470名との予測がされております。

そこで、生徒数の偏りを解消するために、現在は学校選択制を行い、第二中学校を市内全域から選択できるようにし、大和中学校、第三中学校の生徒数の増加に対応し、適正化を図っております。

また、平成23年度から10年間の和光市総合振興計画、この振興計画は和光市の将来都市像「みんなでつくる 快適環境都市 わこう」、この都市像を掲げ、その実現に向けてさまざまな取り組み、計画を示したものであります。この総合振興計画においては、今後、保護者、自治会、先生等の代表により学校建設検討委員会を設置し、中学校の建設についてどうあるべきか話し合い、教育環境の適正化を考えてまいります。

●発言順位 10 新田麻実 子ども議員

和光市の環境についての一般質問を行います。

私は、友達とよく公園で遊びます。そこで最近、気になることがあります。それは公園に落ちているごみのことです。空き缶やお菓子の包み紙など、公園を利用している人がどうやら落としているようで、利用する人のマナーの悪さにちょっと残念な思いがしました。

そこで、時々友達と一緒にその公園のごみ拾いをしています。公園がきれいになると、何だかすがすがしい気持ちになりました。

和光市では、ごみの分別やリサイクルなど、ごみを減らす取り組みにとっても積極的なことがホームページからわかりました。また、市民清掃デーなどの活動も行われており、今後もぜひ続けてほしいと思いました。私も機会があればぜひ参加してみたいと思います。

都心に近い和光市の人口は、今後もふえ続けると思います。そうになると、当然ごみもふえてくるでしょう。

そこで、和光市の環境について伺います。

ふえ続けるごみの問題やポイ捨てなどのモラル低下の問題などに対して、今後どうお考えですか。将来の和光市の環境のためにも、ぜひ御回答お願いします。

■子ども議員の質問に対する答弁 上野君子 議員

新田麻実子ども議員の御質問にお答えします。

和光市では環境に配慮したまちづくりとして、市民が衛生的で快適に暮らせるよう生活環境の維持、改善を行います。市民による美化活動によって、環境に対する意識も高まりつつありますが、道路や和光市駅前のポイ捨てごみ、路上喫煙は依然として減少していません。歩行者や車両からのポイ捨てごみや路上喫煙は一部の人々のマナーが問題となっており、引き続き市民、事業者の環境意識の向上を図る必要があります。

今後の取り組みとして、公共施設美化サポーターの登録数をふやし、市民による市内の美化活動を積極的に進めます。市民、道路管理者などと連携した啓発活動の実施や、各種環境講座を開催することにより、ポイ捨て防止を図り、みずから環境活動を実践できるよう進めます。

また、ふえ続けるごみの問題では、家庭でのごみ減量のための情報提供を行うとともに、資材、機器の提供やその効果的な利用、促進のPRやレジ袋の削減対策などを行い、家庭から排出されるごみを減量します。

また、市民の自主的なリサイクル活動の促進、廃棄物の再使用の促進、会社や商店などから出るごみの削減を行ってまいります。

●発言順位 11 伊藤大輝 子ども議員

和光市の子供の環境についての一般質問を行います。

僕は、放課後によく友達と二軒新田の公園でサッカーや野球をして遊びます。以前、その公園には外灯がなく、日が落ちると真っ暗になるので、夜は防犯上、危ないなと感じていました。けれど、最近外灯が設置されたので、少し明るくなったので安心しました。

市のホームページを開くと、公園の一覧がありました。公園の場所や特徴がわかりやすくなっていて便利だなと思いました。それを見ると、二軒新田の公園はボールで遊べないことがわかりました。家の近くでサッカーや野球をしたかったので少し残念です。できればボールを思い切り投げたり、けったりする場所があるといいなと思います。

そこで、和光市の子供の環境についてお聞きします。

僕たちのような小学生が思い切り遊べる公園などの環境について今後どうお考えですか。僕たちの後の未来のためにも、ぜひ御回答をお願いします。

■子ども議員の質問に対する答弁 山口慶子 議員

伊藤大輝子ども議員にお答えいたします。

二軒新田の公園に外灯が設置され、皆さん安心して利用できるようになり、本当によかったですね。

さて、ボールを思い切り投げたり、けったりできる場所があればとのことですが、伊藤大輝子ども議員も市のホームページで公園一覧をごらんになったとおり、ボール遊びができる公園は7カ所

です。松ノ木島公園、ワンパク公園、広沢原児童公園、和光樹林公園、赤池児童遊園地、天神ヶ谷戸公園、外環・花の木広場などがあります。

しかし、思い切りとなると、荒川河川敷運動公園が野球やサッカー、ソフトボールができます。また、第四小学校付近のレクリエーション広場でも野球やソフトボールができます。利用料金は無料ですが、団体登録や予約が必要です。昔は家の数も少なく、広い原っぱがたくさんありましたが、現在は戸建て住宅や集合住宅、工場などが密集しています。お互いに安全面を考えなくてはなりませんので、どうしても広いスペースというに限られた場所になってしまいます。

なお、学校の校庭は土・日、祝日、広沢小学校だけは夜間も開放していますが、10名以上の団体のみ、代表者は20歳以上ということになっておりますが、利用できます。ただ、平日の学校は、放課後なら学校の先生がまだいらっしゃいますので、1人1人がルールを守り、サッカーや野球など安全面に気をつけて遊ぶことができますので、よろしくお願いいたします。

●発言順位 12 林田 純 子ども議員

市議会の採決について一般質問を行います。

和光市議会では話し合いで意見が分かれたり、迷ったりしたときには、どのようにして決めているかについてお伺いします。

僕のクラスでは、学級会でクラスの問題や学校行事に向けての目当て、学級レクの内容などを話し合っています。学級会は、みんなで決めたことをみんなで実現していこうという考えがあるので、話し合いで意見をまとめるときには余り多数決はしません。そのかわりに、みんなで意見を出し合って賛成・反対をとり、意見を絞っています。

提案の理由や話し合いの目当てに沿った意見が出てくると、話し合いはとてもスムーズに進んでいきます。ただ、いつもそのように進むわけではありません。僕が司会をした学級会では意見がたくさん出て、どのように意見を絞っていこうか迷ったことがありました。いい意見がたくさん出ると、絞り込んでいくのは難しいと感じました。

そこで、和光市議会では話し合いで意見が分かれたり迷ったりしたときには、どのようにして意見をまとめていくかについてお聞きします。

■子ども議員の質問に対する答弁 村田富士子 議員

林田子ども議員の御質問にお答えいたします。

まず初めに、大変いい質問をいただきまして、ありがとうございました。

市議会の採決についてであります。きょう一番初めに議長から二代表制のお話がありました。その中にもありましたように、議会に提出された議案に対しては多数決で決めています。賛成、反対が同じ数だったときは、議長の意見で賛成か反対かが決まります。これは、すべて規則で決められていて、意見がまとまらなくて困るということのないようになっています。

また、国などに議会として提出する意見書というのがあります。これについては、極力話し合い

を重ね、みんなが納得できる文書にまとめて、和光市議会の意見としていきます。

和光市議会では、このたび議会改革の一つとして、議員が集まり和光市議会基本条例をつくりました。これも全員が賛成できる内容にするため、話し合いを何度も積み重ね、時間をかけて、ようやくでき上がりました。その基本条例の中にも、「議会が言論の場であることを十分認識し、議員相互の自由な討議を充実させる」という内容の項目を設けています。

林田子ども議員さんにおかれましては、学級会の司会では御苦労があるかと思いますが、御質問の内容から、よい意見がたくさん出る、すばらしいクラスの様子がかがえました。これからもみんな話し合い、思い出に残るすてきなクラスをつくってください。

●発言順位 13 浜本和佳 子ども議員

和光市の施設についての一般質問を行います。

私は、社会科の授業で千葉県市川市のメディアパーク市川という生涯学習センターについて勉強しました。この生涯施設は、充実した文化施設が欲しいという市民の強い願いがあり、議会で建設費用やセンターの中の施設をどうするかなど、さまざまな問題が話し合われ、つくられたものだと思います。施設の中は、図書館、映像文化センター、こども館、アートギャラリーからできていて、子供からお年寄りまで多くの市民が利用できます。また、この施設のすぐ近くには博物館やショッピングセンターがあり、市川市は文化施設と商業施設がともに栄えるまちづくりを目指しているということでした。

私は、この学習を通し、和光市では市川市のように市民からの願いによってつくられた施設があるかどうかについてお聞きしたいと思います。

また、ほかの市と違って、和光市ではどういうことに力を注いでいるかについてもお聞きします。以上2点について質問します。

■子ども議員の質問に対する答弁 西川政晴 議員

浜本子ども議員の御質問にお答えいたします。

1つ目の「市民からの願いによってつくられた施設はあるか」については、和光市においては代表的な施設として市民文化センターや樹林公園内にあります総合体育館があります。現在、市民からの要望などから進められている主なものは、丸山台の保育園、下新倉地区に予定している新設の学校づくりなどがあります。

2つ目の「和光市ではどういうことに力を注いでいるか」については、将来に向けてどのようにして、どのようなまちをつくろうかという総合振興計画があります。市川市では、「ともに築く 自然とやさしさがあふれる 文化のまち いちかわ」を将来都市像にしています。和光市では今年度、市民の方々の参加を得て第四次総合振興計画をつくり、「みんなでつくる 快適環境都市 わこう」を将来都市像として、今後10年間に和光市が力を注ぐところを決めたところです。

さらに、基本目標に「快適で暮らしやすいまち」「自ら学び心豊かに創造性を育むまち」「健や

かに暮らしみんなで支えあうまち」「安らぎと賑わいのある美しいまち」を掲げ、65項目の施策、力を注ぐところを決めました。

この質問の趣旨は、市民とともにまちづくりを基本としている和光市にとって大変重要な事柄と考えています。

●発言順位 14 水越 聖 子ども議員

広げよう和光の森についての一般質問を行います。

北原小の学区には、ふれあいの森や越戸川など自然があります。僕たちも、そこに行って遊んだりすることがあります。そのとき気づいたことで、和光市内にもっと自然と触れ合える場所がふえると、子供たちはそこで遊べるし、和光市の空気や水がきれいになると思います。

そこで、僕たちは「広げよう和光の森」という案を考えました。遊び場が少ないため、道路やコンクリートで遊んだりしている人をよく見かけます。道路で遊ぶと、歩行者にも邪魔になるし、自分たちも車にひかれる可能性が高くなります。コンクリートで遊ぶと転んだときにけがをしやすくなります。以上の理由で、遊ぶための安全で自然に触れ合える芝生の森の建設を要望します。

また、そんな自然を守るために、ごみ箱の設置、みんなが捨てたくなるようなごみ箱の設置も要望します。

■子ども議員の質問に対する答弁 荻野比登美 議員

水越聖子ども議員の御質問にお答えいたします。

御提案の芝生の森は子供だけではなく、大人にとってもすばらしい場所になると思います。北原小学校の校区にあった越戸ふれあいの森は、地主さんの御意向で閉鎖することになってしまい、とても残念に思っております。和光市では白子3丁目に花と緑のふれあい広場や樹林公園の芝生広場が整備されておりますけれども、他の公園でもコンクリートの部分などを草地に変えることができるかどうか検討してみたいと考えております。

また、ごみは自分で処理をすることを基本原則としておりますので、公園や街頭にごみ箱を置くと、ご家庭で発生したごみまでそこに入れられることもあり、現在はごみは御自分でおうちに持って帰って処理していただくようお願いし、ごみ箱を設置することはしておりません。

ごみ処理の基本原則につきましては、市民の方々にも御理解いただけるよう広報するなど努力してまいりたいと考えております。

●発言順位 15 川上萌々香 子ども議員

街灯やカーブミラーについて一般質問を行います。

私たちの北原小の学区には、道が細くて暗いところがあります。クラスの友達がテニスの帰り、暗くて見えにくく困ったことがあります。そこで、暗い道には街灯がつくといいと思います。

街灯がつけば段差があっても安全だし、歩きやすくなり、1人で塾等の帰りも心強いです。冬は

日暮れが早いので、すぐ暗くなります。6年生になると、習い事で帰りが遅くなる人もいるので、安全のため街灯の設置を要望します。

そのほか、学区に坂が多くカーブミラーがつけられています。学区内は安全なところが多いですが、市内にはまだカーブミラーが必要なところがあります。なので、安全のために、カーブミラーの設置も要望します。

■子ども議員の質問に対する答弁 吉田けさみ 議員

川上萌々香子ども議員の御質問にお答えいたします。

和光市では、夜間に歩行者や自動車の運転者が道路の状況や交通の状況を的確につかむようにすることができるように、よりよい視覚環境をつくり、道路環境の安全性の向上を図っています。あわせて、犯罪を防止する目的で市が管理する道路に照明灯、街灯を設置しています。道路照明灯を設置する場所は、交差点や横断歩道、道路の形態が急に変わる場所など、通行上危険なところや防犯上必要だと認められる場所に設置することになっています。

ただし、照明灯を設置する場合には光害（光の害）に注意しなければなりません。照明灯の光が近くの家差し込んで迷惑をかけてしまったり、あるいは畑の野菜に夜も光が当たることで野菜の成長に異変が起き、出荷できなくなることもあります。ですから、和光市では周辺の方々の承諾をもらって、それから設置を進めています。

次に、カーブミラーについてですが、見通しの悪い交差点や道路のカーブしている部分の通行の安全性の確保、それから支障なく通行できるようにするために設置しています。交差点付近には建物が建築され、見通しが悪くなった場合などは市民の方から要望が出されますので、通行する歩行者や自動車の通行の支障にならないように位置を検討して設置をしています。しかし、カーブミラーは安全を確認するためのあくまでも補助的なものですので、一時停止などの交通ルールを守り、御自分の目で必ず安全確認を行い、通行するようにしてください。

●発言順位 16 梅原 暲 子ども議員

本町28番、29番地区（朝霞市栄町2丁目との境）の公園設置についての一般質問を行います。

僕は、本町29番地区に住んでいます。朝霞市との境のせいか、地域の公園がありません。本町28番、29番地付近に公園をつくる計画があるかお聞きします。

僕たちの地域で遊ぶためには近くのC Iハイツに行かなければならないのですが、ローソン前の交差点で事故が起きたり、右折左折の車が突っ込んできたりと危険です。小さな子供だけでは安心して公園に行くことができません。僕たちの地域では道路で遊ぶ子供をよく見かけます。この道路は交通量は少ないものの、たまに抜け道として使われて車がスピードを出して通り過ぎることがあります。

以上のことから、僕たちの地域には公園が必要だと思います。公園ができれば朝霞市の人たちにも使ってもらい、和光市と朝霞市の交流にもなると思います。バスケットゴールのある広場と幾つ

かの遊具があるだけでも、人が集まり、たくさんの友達がつくれそうです。このような市の境の地域に公園をつくることは実現可能かどうか伺います。

■子ども議員の質問に対する答弁 山本軍四郎 議員

梅原瞭子ども議員の御質問にお答えいたします。

大変難しい質問をいただきました。私が答弁しますことが、梅原子ども議員さんに満足する回答にはならないかもしれません。しかし、私なりに知り得た現状を話しながら、回答にかえさせていたきたいと思えます。

梅原子ども議員さんが住んでいる土橋や朝霞市栄町は人家が密集し、人口の多かった地域でした。現在では、それぞれの駅周辺に商店や事務所、住居等が集中しておりますが、過去においては、旧川越街道を含め、朝霞市栄町、土橋地域のほうが活気があった時代でした。そうした時代の背景の流れの中で、現在のような空き地がほとんどない状況になっておりますが、和光市全体でとらえれば今後とも公園はつくられると思えます。

現在、市で公園を整備する予定となっているのは、土地区画整理事業で公園用地を確保する場所や地主さんからの用地を貸してくれるなどの協力が得られ、借地公園として整備ができるようになっていた場所等との説明を市当局から受けています。残念ながら、この計画の中には質問いただきました本町29番地は含まれていません。

この地域には土橋児童遊園地があり、遊具といたしまして、滑り台1台、ブランコ1、馬型のスプリング遊具1、ベンチ2基が設置されていますが、それぞれの遊具には設置のための安全領域という範囲が基準で定められているため、この公園の限られた面積の中ではバスケットゴール等の新たな施設を追加することは難しく、また幼児や高齢者の方々が利用することを考え合わせると、安全面について十分な研究が必要となります。

また、過去の議会においても、地域防災の一環として東京地下鉄和光車両基地に避難場所として利用できないかとの質問をしましたが、鉄道等の安全面からできないとの回答だったという話も聞いています。

いずれにしても、よい質問をいただきました。梅原子ども議員の発想は、私はすばらしく感じました。私たちもよい方法はないかと努力はしなければならぬと思えました。地域の公園また交通安全対策の質問に対して、議会のほうからも市当局のほうに要望のあったことを伝えていきたいと思っています。

●(再質問) 梅原 瞭 子ども議員

先ほど山本議員が区画整理をされるとおっしゃっていましたが、その時期は具体的にいつごろになるとお考えになりますか。

■子ども議員の再質問に対する答弁 山本軍四郎 議員

土橋の今、梅原子ども議員が住んでいるところについては、先ほど言いましたとおり区画整理の予定はございませんが、例えば谷中の地区とか、そういう今行っている区画整理については順次公園の施設をつくらなければならないというふうになっております。また、現在、下新倉の氷川神社は御存じだと思いますが、あの地域に1カ所、地主さんから借りて公園をつくる予定になっています。

●発言順位 17 中村美波 子ども議員

サミットストア前のスクランブル化についての一般質問を行います。

私は、サミットストア前の交差点をスクランブル化することを要望します。交差点をスクランブル化するために、住民はどのような手順をとるといいのでしょうか。また、今後スクランブル化するという計画はありますか。

私は、サミットストア前の交差点をスクランブル化することを要望します。サミットストア前の信号は青信号の時間が短く、小さい子供やお年寄りが渡り終わる前に赤信号になることがあります。また、サミットストア前から交差点を2回渡らないと駅の方面に行けないので、信号無視が多く、危険だと思います。小さい子供がまねをするのではないかと心配です。

和光市駅前にスクランブル交差点があるのを見て、とても便利だと思いました。みんなが安全に交差点を渡るためにもサミットストア前の交差点をスクランブル化することを要望しますが、いかがでしょうか。

■子ども議員の質問に対する答弁 斉藤克己 議員

中村美波子ども議員の御質問にお答えいたします。

スクランブル交差点が設置できる箇所は、繁華街の交差点、駅周辺の交差点、バスターミナル周辺の交差点です。信号機の設置については、朝霞警察署が窓口となっております。斜め横断者が3分の1以上いる交差点とされております。特に人数は決められていませんが、スクランブル交差点は普通の信号機より時間がかかるため、車の流れが悪くなり、渋滞の原因となることがあります。

サミット前交差点については、歩行者の大多数は斜め横断ですが、繁華街、駅周辺、バスターミナルのいずれも該当しませんので、設置は難しいとのことです。しかし、中村子ども議員がおっしゃるとおり、歩行者の多い交差点ですので今後とも注意してまいります。

また、信号無視が見受けられるとのことですが、大変危険ですので、まねをしないでください。日ごろから、みんなの模範となる行動をお願いいたします。

また、信号機の設置については、朝霞警察署へ和光市でも毎年10カ所以上、設置や改良について要望書を提出しています。埼玉県警察本部では、県内の警察署から上がってきた交差点について現地調査や交通量、効果などを調査し、優先順位を決めて順次設置しています。しかし、埼玉

県下の市町村から上がってくる要望は大変多く、設置されるまでには時間がかかります。

●発言順位 18 山本貴広 子ども議員

スクールゾーン設置について一般質問を行います。

僕たちの通学路についてです。

まず、氷川神社付近の道路では道路の側溝が少なく、雨が降ったときには水がたまってしまいます。そのため、側溝をふやしていただきたいです。

次に、新倉幼稚園付近についてです。そこでは街灯の本数が少なく、特に下校時には周囲が暗く、とても危険です。そのため、街灯をもっとふやすことを要望します。

最後に、大和中学校付近では信号機の青の時間が少なく、すぐに赤になってしまいます。また、そこでは道路の整備がされていません。そこで、これらを改善し、歩きやすくしていただきたいです。

以上4点について要望しますが、いかがでしょうか。

■子ども議員の質問に対する答弁 並木修二 議員

山本貴広子ども議員の質問にお答えいたします。

御質問の下新倉氷川神社や新倉幼稚園付近を含め、下新倉2丁目から3丁目にかけての地域では、現在区画整理の工事を行っています。

下新倉氷川神社付近は、その中で新しく大きな道路をつくる計画がありますので、その道路計画に合わせて側溝などの整備をする予定になっています。

なお、ゲリラ豪雨と言われる集中豪雨のときなどには当然道路側溝があふれることもありますので、その場合には市としてはその箇所の補修工事などで対応を行っていく予定です。

次に、新倉幼稚園付近ですけれども、同じように区画整理事業を行っていきまして、新しい道路ができています。しかしながら、建物がまだないために電柱もなく、照明灯が設置できない箇所もあります。区画整理事業の進捗に合わせて照明灯の整備をしていく予定になっています。

最後に、大和中学校付近の信号機についてであります。これはプールそばのコンビニ近くのことと思って答弁いたします。本来、信号機の設置は警察が管理していますので、自動車、歩行者の交通量に応じ、それぞれの通行が円滑に行われるように切りかえ時間を調整しています。調整などの要望がありますときは、警察にこの要望などを伝え、警察が現地調査を行った上で判断することになっておりますので、御要望については早速警察に伝え、判断を仰ぎたいと考えています。

最後に、多分歩道の整備のことではないかと思うんですけれども、これについては和光市全体の歩道を優先づけしていきながら、危ないところから順次改良していく計画を持っております。

●発言順位 19 加藤涼雅 子ども議員

和光市の現在の取り組みについて一般質問を行います。

僕たちが住んでいる和光市の取り組みについてです。先日、和光市のホームページを見ました。ホームページには、たくさんの取り組みについて書いてありました。産業や教育や商業、福祉、保健などいろいろな分野で取り組みを行っているようです。

僕は和光市に来て2年になりますが、とても交通の利便性の高いまちだと思っています。和光樹林公園を初め緑も多く、サンアゼリアなどの文化施設も充実した、とても住みよいまちだと感じています。その恵まれた環境を生かし、まちも人も、もっと活気づいてほしいと思います。和光市のために一番積極的に取り組んでいることは何ですか。また、その理由についてお聞かせください。

■子ども議員の質問に対する答弁 野口 保 議員

加藤涼雅子ども議員の御質問にお答えします。

加藤子ども議員が指摘しておりますように、商業、工業、農業の産業育成や教育環境の整備、子供や高齢者の保健福祉政策を「和光市総合基本計画基本構想」として定めており、市長さんも議会も将来都市像を「みんなでつくる 快適環境都市 わこう」と掲げ、まちづくりを進めていくことになっております。市民の皆さんに目指す目標を具体的に示し、理解と協力をいただいております。

基本的な考え方は、「みんなでつくる」は和光市民みんなで和光市のまちづくりを進めていくことをあらわしています。「快適環境都市」は、和光市は自然環境と都市機能との調和がとれた住環境を形成しているということが大きな魅力となっております。和光市が東京に最も近いという利点を最大限に生かしたまちづくりを進めていますし、今後も最大限の利点として取り組んでまいります。生まれたときから和光市に住んでいる人、新しく移り住んできた人、だれもが安心して住み続けることができるまちとなるよう一番に考えて目指しております。

次の4つの基本目標を定めております。

1つ目が「快適で暮らしやすいまち」、2つ目が「自ら学び心豊かに創造性を育むまち」、3つ目が「健やかに暮らしみんなで支え合うまち」、4つ目が「安らぎと賑わいのある美しいまち」、このことを実現するために市民と市と議会が協働と対話で進めてまいります。

●発言順位 20 加山 新 子ども議員

海外派遣についての一般質問を行います。

海外派遣についてお聞きします。

去年の海外派遣は、新型インフルエンザで中止になったということは聞きました。しかし、ことはどうしてなかったのですか。兄や姉が海外派遣で外国へ行って、僕らも行きたかったのに行けなかったという意見がありました。もし経費削減で海外派遣をなくしたのであれば、なぜ海外派遣で経費を削減してしまったのですか。中学生で留学できるという体験は、とてもいいことだと思う

ので、ぜひ実施させていただくことを要望いたします。

■子ども議員の質問に対する答弁 佐久間美代子 議員

加山新子ども議員の御質問にお答えいたします。

和光市の中学生海外派遣事業は、和光市と姉妹都市を結んでいるアメリカのワシントン州ロングビュー市の人々との交流や豊かな国際感覚を身につけるなどの目的で、平成5年度から実施されてきました。平成20年度までに中学生海外派遣事業は15回行われてきました。市内在住の中学2年生と3年生の16名と引率者3名で約600万円の予算で実施され、毎年参加者の報告集も出されてきました。しかし、希望されても全員が参加できる事業ではありませんでした。

平成21年度については、インフルエンザの世界的な流行があり、中止をいたしました。また、平成22年度につきましては、中学生海外派遣事業は真の国際交流としての事業ではないという事業仕分けの結果を受けて休止となりました。

平成23年度については財政状況が厳しいことと、事業仕分けの結果もあり、第四次和光市総合振興計画、これは平成23年度から平成32年度までの10年間の暮らしや教育、福祉やまちづくりなど和光市の全体の計画であります。その中の3年ごとの実施計画で採択されませんでした。大変残念ではありますが、今後は毎年、事業のあり方も含めて見直しをしていくことになると思われま

●発言順位 21 吉田弥桜 子ども議員

五小の学童の後ろが暗いことについて質問したいと思います。

和光市立第五小学校では、親の仕事などで学校が終わった後、学童に通っている子供たちがいます。その中には親が迎えに来る人もいれば、親が家に帰る時間に1人で帰る人もいます。しかし、学童の周りはとても暗く、冬場は真っ暗になっています。1人で帰るには、この御時世、大変危険です。明るくしてください。

■子ども議員の質問に対する答弁 堀 文雄 議員

吉田弥桜子ども議員の御質問にお答えいたします。

私も質問をいただいて、1月19日、朝6時半ごろと夕方6時前の2回、関係学童の明るさの確認に行っていました。お尋ねのとおり、学童保育施設の周辺にはやや暗いところがあり、怖さを感じられたのではないかと思います。

南児童館と一緒に学童には入り口に街路灯があり、両学童の周辺道路には街路灯が各電柱に設置されていて、明るさは確保されていると感じました。ただ、その中で南地域センターと一緒に学童の入り口、玄関前は明るいのですが、二またに分かれた道路、これは暗いと感じました。幸い、その南地域センターの入り口には電柱が1本立っております。そこに街路灯をつければ、両方向の道路が明るくなるのではないかとということで、関係の部署と検討いたしまして、つける方向で進んでおります。

また、児童館と第五小学校の間、これについても、やや暗いかなというふうに感じましたけれども、そこは第五小学校南西側にある照明灯 2 基がついておりますが、その明るさを調整することによって解決できるのではないかと考えております。

これからも学童保育を利用する後輩のことです。そして、生活していく上で気がついたことはみんなまで話し合っ、少しでも和光市がよくなるようにお互いに努力してまいりましょう。

●発言順位 22 宮本雄太 子ども議員

学校建造物関係についての一般質問を行います。

私たち第二中学校の体育館についてです。私たちが生徒会朝会や体育の授業、さまざまな行事があるときに使用している体育館は、全体的にととてももろく、危険です。

まず 1 つ目の改善点は、体育館の中にあるすべての階段です。2 階のギャラリーへ行く階段は、ところどころに壊れている階段があり、踏むと急に段が浮き、すべり落ちそうになります。よくこの階段を使う卓球部も何度か危険な目に遭っています。

また、ステージの上にある放送室へ行く階段はつくりが古く、ずっと前から使用しているので、段の板がすり減ってすべりやすくなっていて、しかも傾斜が急なので、とても危険です。だから、その部分の修理や取りかえをお願いします。

2 つ目の改善点は、体育館の 2 階にある落下防止のさくです。そのさくは、何と骨組みしかなく、重要なさくの中心部分は大人 1 人が通り抜けられるぐらいのすき間ができており、現在はその部分に板を立てかけているだけで、文化祭などで 2 階を観客席として使うとき、見やすいように板をとります。そのときに小さい子供だけでなく中学生や大人でもとても危険なので、すき間の小さいさくに取替えてください。

あと、できれば体育館の天井にある照明用のライトの光が暗いので、新しいライトに取りかえてほしいです。

■子ども議員の質問に対する答弁 野口 保 議員

宮本雄太子ども議員の御質問にお答えします。

和光市の学校施設（校舎、体育館）の修繕整備計画に基づきまして、順次進めているところであります。特に地震に対する耐震補強工事として、市内の小中学校の校舎と小学校の体育館は完了しております。次の計画は中学校の体育館が残されており、大和中学校体育館の建てかえ工事から順番に整備することとなっております。

さて、御質問の体育館放送室への階段の老朽化、2 階の観覧席の落下防止さくの安全強化、天井の照明取りかえ、これらにつきましては体育の授業やクラブ活動、また文化活動など生徒の安全・安心を確保するために施設の修理・修繕をする必要があることと考えますことから、管理責任者の校長先生をお願いすることがまず必要と思います。

議会としては、生徒・児童が安全に勉強できるように教育委員会の教育施設担当に現場の確認を

依頼するとともに、安全な対応をお願いしていきたいと思います。